

新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの



3日のアピール行動

衆議院選挙で自民党圧勝許す

共産党比例7議席から 4議席に後退



高橋千鶴子候補弘前での最後の訴え

SIDE-A



安藤はるみの活動日誌

- 1月 1日 八幡神社前で元旦街宣 (写真)
- 2日 町内挨拶回り
- 3日 9条女性の会で戦争反対アピール行動 (写真)
- 5日 水産・青果・りんご市場初競りセレモニー
弘前市新年互例会、弘前商工会議所新春祝賀会
- 8日～9日 県庁内挨拶回り
- 10日 取上町会新年互例会
- 11日 里親普及啓発上映会
- 12日 消防団出初式
- 13日 スポーツ協会新年会
- 14日 核のゴミから未来を守る県民の会申し入れ
- 15日 弘前青年会議所新年祝賀会
- 16日 弘前建築組合懇親会
- 17日 県道除排雪状況知事視察同行
- 21日 経済・交通・観光委員会 (写真)
- 26日 健生病院前朝街宣
- 27日 衆議院解散
- 28日 比例カーで街宣 (写真)
- 31日 私学の集い
- 2月 2日 高橋千鶴子比例候補弘前で訴え同行
- 6日 弘前城雪燈籠まつり開会式、
高橋千鶴子比例候補弘前で訴え同行 (写真)
- 8日 投開票日
- 11日 思想・信条の自由を守る2・11市民集会
- 14日 国スポ冬季大会開会式



公示日街宣



元旦街宣

排雪が
何とも嬉しときめいた
(はるみのワクワク川柳)

ほっとタイム
(総選挙)

日本共産党は、残念ながら比例代表選挙では7議席から4議席へと後退し、東北の命綱と言える高橋千鶴子さんの議席復活はかなえられず、そして沖縄1区のアール沖縄で戦ったかけがえのない沖縄の赤嶺政賢さんの議席を失うこととなってしまいました。応援くださった皆様と心から感謝を申し上げ、期待に応えられなかったことに心からお詫びいたします。申し訳ありませんでした。敗因については党をあげてしっかり分析していきます。皆さんからの声もぜひともお寄せください。

こうした状況に陥った今何をすべきか。何よりも平和を願う皆さんとこれまで以上に力を入れて改憲阻止に向けた市民運動に力をつくしていかなければならないと思っています。そして地方議員の私たちは、住民の皆さんの願いに耳を傾け住民の利益第一で引き続き頑張っていくことを決まっています。どうぞよろしくお願ひ致します。

雪国や受験生に思いを馳せることなく、「総理が私でいいか国民に決めてもらう」国論を2分する問題で信を問う」などと言いつつ、具体的な問題には踏み込まず、ほとんどの野党が公約に掲げた消費税も食料品だけ2年間ゼロにするとし、争点をぼかし、統一協会内部文書で判明した統一協会との癒着の構造や裏金問題・違法献金への説明は一切語らず、高市首相は人気の高いうちに短期決戦を仕掛けてきました。そしてSNSの宣伝費用を莫大にかけ、高市フィーバーを起こし、自民党圧勝という結果をはじき出しました。

その結果、自民党単独で衆議院の3分の2を超える事態となりました。してやられたという思いです。しかし、その結果が民意を正しく反映されているかというところは言えません。比例代表選挙での自民党の得票率は36.7%で67.7%の議席占有率を得たのです。まさしく小選挙区制度によるものであり3分の2超の議席は「虚構の多数」といえます。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
9:00~14:00 (土・日・祝日左記時間以外は留守電対応)

自宅0172-35-2270

Eメール ando-harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/

X (旧) Twitter 安藤はるみ 日本共産党 で検索 フォロワー930人

1月の相談件数2件
ホームページアクセス数 1月131,796件

日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの 新・アジサイだより

1月委員会での質問



1月21日

経済・交通・観光委員会での質問

12月8日に発生した青森県東方沖地震に関連した質問3点他3点を質問しました。

【経済産業部関係】

●地震に関する中小企業支援について激甚災害制度とのかかわりについて問う

梁田隆経済産業政策課長

「激甚災害制度は、国民経済に著しい影響を及ぼし、被災者に対する特別の助成措置を行うことが特に必要と認められる災害が発生した場合に、被害額に応じて国が激甚災害に指定する。現在被害状況の把握に努めている段階で、被害額についても、調査中の事業者も存在し、未確定であることから、激甚災害の指定について現時点で見通すことは難しい」とし、指定された場合の国の支援策も確認し速やかな調査と、被災された中小企業

SIDE-B

アジサイ便りを読んでのご感想や、委員会など議会で取上げて欲しいことなどありましたらお寄せください♪

の経営継続が図られるよう求めました。これに対し

経済産業政策課長は「具体的な支援策については、被害状況や関係団体の声、市町村の意向を踏まえながら検討を進め、早期復旧につとめていきたい」と答弁しました。

他に

●地方独立行政法人青森県産業技術センター工業部門の技術開発支援の取組についても質問しました。

【交通・地域社会部関係】

●地震によるJR八戸線運休に伴う利用者への影響・代替え交通の運行と早期運行に向けた県の対応について問う

菊池礼仁鉄道対策課長

「代替え輸送サービス提供前の13日間における影響人数は約3万3080人で特に高校生に影響があった。JR東日本は12月22日から30日に全線で運転再開されるまでの間、八戸駅と鮫駅との間で一日あたり上下各39本(休日のおぞく)の代行バスを、鮫駅と久慈駅との間で臨時ダイヤによる列車上下各5本の代行輸送を実施した。

県では地震発生以降、JR東日本に対して早期復旧と代替え輸送確保を要請したほか、代行バスの早期かつ円滑な運行に協力した」と答弁しました。

安藤は、地震の影響とはいえもう少し

早く代替え輸送確保に尽力し高校生たちの通学の影響を軽減してほしかったと感想を述べました。

取り組んでいる」と具体例をあげながらの答弁があった。安藤は、館鼻岸壁朝市やみろく横丁などの復旧状況も積極的に発信しながら「安心して楽しめる」観光推進を求めました。

●津軽鉄道のストープ列車連結分離についても質問しました。

他に

●インバウンドの拡大に向けた取組について質問しました。

【観光交流推進部】

●地震による観光への影響について問う

佐藤宏観光政策課長

「1月7日時点で宿泊施設では、天井や床壁の破損、ひび割れ、水道やボイラーと配管の破損、看板の落下などの被害が7市町村28施設で確認された。観光施設でも同様の被害が10町22施設で確認された。他県有施設の三沢航空科学館でも床のタイル破損などが確認された」と答弁。

●県内宿泊施設の宿泊キャンセル状況について問う

観光政策課長「12月分の宿泊予約について100名から200名程度のキャンセルが6施設、400名程度が1施設、1000名を超えるものが2施設あった。1月分以降休館を余儀なくされているホテルを含む3施設以外ではキャンセルは発生していない」と答弁

●観光への影響回復に向けての今後の対策について問う

観光政策課長「地震による観光への影響の早期回復に向け、交通事業者や観光事業者と連携し、観光需要の喚起に

ジャーナリスト伊藤千尋さんのFacebookより

一部抜粋

日本の市民運動も捨てたものではありません。お隣の韓国に影響して100万人デモを生むきっかけになったのです。あとき(2015年9月19日)、国会前に参加した人もいでしょう。あなたの行動が韓国の政治を変えたのです。私たちには力がある。

僕はさらに問いました。「日本ではとても100万人は集まらない。どうして韓国ではできるのですか」と。答えは、こうです。「我々、韓国の市民は軍事独裁政権の時代に市民が何度も血を流しながら闘い、ついに民主主義を勝ち取りました。だから自信を持っています。日本の歴史の中で市民が立ち上がって政権を勝ち取ったことが一度でもありましたか」と。そう、繰り返す市民運動が市民自身に自信をつけ、自信を持った市民がまた立ち上がるのです。体験しなければ自信は生まれません。だったら、今から私たちが自ら体験すればいい。

今や韓国の軍事政権の時代に似たようなことを高市政権はやろうとしています。今こそ、私たちは日本に歴史を作ろうではありませんか。選挙結果にめげているときではない。これをきっかけに、より良い未来、私たちの子や孫に誇れる日本を、私たちの手で創り出そうではありませんか。

はるみ事務所の風

車が壊れるんじゃないかというほどポッコポッコの道きらい。
車がスタックするんじゃないかというほどゲソゲソの道きらい。
すれ違えないほど狭くなった道きらい。

譲ったり譲られたり。
‘ありがとう’したりされたり。
心のゆとりが大事だね。

～雪みちのポエム～ 葛原未来